

第1回市民会議での 質疑応答の補足

R6.11.29 第3回大田市新庁舎整備検討市民会議

●ハード整備だけでない利用方法などソフト面の検討の必要性

Q:例えばスポーツクラブで利用できるなど、
来る理由を作らなければ賑わい創出につながらないのでは。

Q:市民利用スペースが本当に必要かは疑問。周辺を含めた整備が必要。

- 庁舎を起点としたにぎわい創出において、
利用イメージがしっかり持てる整備を目指します。
- みなさんには、どのような利用が出来そうか、
周辺の施設との連携も含めてご提案ください。

●建築費について

Q:海田町は同じ3万人で、30億円程度で整備しているが、大田市でも同じに出来ないか。

- 近年の全国の落札額を踏まえて計算しています。海田町の建設時と比べて、建築資材や人件費は上がっています。
- 建築資材や人件費などの建築費は、これからも上がり続けるとみられることから、面積を減らすなど建築費削減に努めます。

●テナントの入居、収入について

Q:お金を生み出すために1階に民間を入れて収益化するような仕組みが出来ないのか。

- 昨年度行った調査では、「大きなテナントは難しく、小さなカフェや物販は可能性あり」とする結果でした。
- また、家賃収入等で、テナント部分の建築費をまかなうことは難しいという結果でした。
- 本会議でのご意見や駅前活性化による波及効果を踏まえ、テナントスペースの有無を検討します。

●既存庁舎の活用について

Q:既存庁舎を減築して2層化して利活用するなどできないのか。
安来市のように専門的な部署は離れていても良いのではないか。

- 市民の窓口利用が少ない部署については、ほかの施設の活用も考えます。
- 現庁舎は、何らかの改修をしたとしても、使用できる期間を踏まえてコストを比べると、新築の方が安い計算となります。（※現庁舎は築42年）
- 日ごろの利便性や素早い災害対応のため、部署はなるべく1か所、または近くにまとめます。

●1階の想定面積

Q:1階スペースでの様々な活用事例が挙げられているが、具体的な面積の想定は。
例えば会議はあすてらすで行う等周辺施設の利用を考えて欲しい。

- 1階での、トイレなどの必須部分を除くと、
おおよそ600～700m²程度が活用できる目安です。
※本日の会場が90m²ほど
- 近くの施設との役割分担も踏まえて、
会議室はできるだけ減らすなど、コンパクトな庁舎を
目指します。

●市民活用スペースの運用について

Q:開庁時間でなければ利用できないのであれば機能しないのではないか。

Q:外国人観光客も来るので、地元産のものが売れるお店があれば賑わいに繋がると思う。

- 例えば「朝7時半から夜9時まで」のように、ゆとりのある時間帯で開放する想定です。
- 大田市駅に売店があるため、役割分担は必要ですが、外国人にも目を向けた観光客動線を考えます。

●誰をターゲットとするか

Q:日常的に利用するターゲットは誰か。JRを利用するのは高校生しかいないのではないか。

- 日常利用のターゲットとして以下の方々が想定されます。
 - 手続きやご相談などで来られる方
 - バスや電車などで移動を行う方々
 - 学生さん
 - 子育て拠点施設の利用者など
- また中日つつあんなどのイベント参加者や休憩で利用したい方なども想定されます。